



アイリス読書会

フェミニズムをテーマにした本を通じ、日常の中にある「なぜ？」を共に考え、語ってみませんか？月1回の、誰でも気軽に参加できる読書会です。是非読んでご参加ください。（事前申込不要）

『男も女もみんなフェミニストでなきゃ』

著者：チママンダ・ンゴズィ・アディーチェ

1回目：5月14日（土）10：30～12：00

2回目：6月11日（土）10：30～12：00

『82年生まれ、キム・ジヨン』

著者：チョ・ナムジュ

1回目：7月 9日（土）10：30～12：00

2回目：8月 6日（土）10：30～12：00



本を読んでいなくても参加可能ですが、読んでからご参加いただくと、さらに深く本の世界を楽しんでいただけます。本を読んで気になるところ、大好きなところ、心に響いたところなど、参加者の皆さんと話しあえたらと思います。聞くだけの参加も、もちろん大歓迎です。

会場：渋谷男女平等・ダイバーシティセンター



東京都渋谷区桜丘町23-21

渋谷区文化総合センター大和田8階

【問い合わせ先】03-3464-3395



◆当日直接会場にお越しください。感染症対策を行っておりますので安心してご参加ください。体調の悪い方は参加をお控えください。



『男も女もみんなフェミニストでなきゃ』

『ジェンダーの問題は、私たちがありのままの自分を認めるのではなく、こうある「べき」だと規定するところにあります。もしもジェンダーによる期待の重圧がなくなったら、私たちはどれほど幸せで、自由で、個々人が本当の自分でいられるかを想像してみてください。』

下記のリンクより、この本のもとになっているTED x Eustonの動画がご覧になれます。



ジェンダー問題を分かりやすく、ユーモアに、そして深い洞察をもって書かれたこの本は、フェミニズムを学ぶ最初の1冊としてお勧めです。

チママンダ・ンゴズィ・アディーチェ

1977年、ナイジェリア南部のエヌグで生まれる。03年発表の初長編『パープル・ハイビスカス』がハーストン/ライト遺産賞やコモンウェルス初小説賞を受賞し、ビアフラ戦争を背景にした長編『半分のぼった黄色い太陽』は07年のオレンジ賞を最年少で受賞してベストセラーとなる。13年に『アメリカーナ』で全米批評家協会賞を受賞。

『82年生まれ、キム・ジヨン』

『失うもののことばかり考えるなって言うけど、私は今の若さも、健康も、職場や同僚や友だちっていう社会的ネットワークも、今までの計画も、未来も、全部失うかもしれないんだよ。だから失うもののことばかり考えちゃうんだよ。だけど、あなたは何を失うの?』

韓国で社会現象を巻き起こした衝撃作には、日本に生きる私たちも当事者性を感じる部分が多く盛り込まれています。女性に生まれたというだけで直面する“当たり前”という名の困難や差別に気づかされる作品です。

チョ・ナムジュ

1978年ソウル生まれ。2011年、長編小説「耳をすませば」で文学トンネ小説賞に入賞して文壇デビュー。2016年『コマネチのために』でファンサンボル青年文学賞受賞。『82年生まれ、キム・ジヨン』で第41回今日の作家賞を受賞、大ベストセラーとなる。

